「広陵町自治基本条例」って知ってる？

自治さんと学ぶ 自治基本条例講座 Vol.23

「何かをしたい想い」がまちづくりの第一歩

～西谷公園パーゴラ完成～



12月11日の透き通る冬空の下、馬見南2丁目の西谷公園で「パーゴラ完成記念お披露目式」が行われました。

パーゴラ製作

パーゴラは日陰を作るための棚のこと。現在、西谷公園は防災公園として改修工事中ですが、遊具付近に日陰が少ないことから、公園に遊びに来た子どもや保護者の皆さんが暑さを避けることができる憩いの場となるように協働での製作となりました。

製作にあたっては、真美一まちづくり協議会と畿央大学、町の3者で協議を重ね、設計は大学、基礎工事は町、ルーバーや床、ベンチは協議会が中心となって担当。畿央大学生らも手伝いました。

多くの人が関わったことで、地域に愛されるパーゴラができあがりました。

お披露目式

「子どもたちに地域のみんなで作ったパーゴラを見てほしかった」と東会長。当日のお披露目式には子ども130人、全体で約300人が集まりました。地域住民の方によるマジックショーやビンゴ大会が行われ、子どもたちは大喜び。パーゴラのほか、昨年3月に設置された遊具でも多くの子どもたちが遊んでいました。



▲子ども大喜びのマジックショー

将来の西谷公園

西谷公園は真美ヶ丘第一小学校区の方だけではなく多くの方が集まる公園です。「将来は私たちが公園を活用して管理を担うなどして、もっと魅力ある、いろんな人が集まってくるような交流の場にしていきたいですね。」とまちづくり協議会のメンバーの皆さんは言います。

町では、地域の皆さんとともに魅力ある拠点づくりを目指しています。





▲多くの方が完成を喜びました